

つたぎわ



学校教育目標

わくわく学び
いきいき挑戦する
児童の育成

学校評価アンケートについて

節分も過ぎたとはいえ、余寒厳しい日々が続いております。皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。学校も年度末を迎え、来月の卒業証書授与式に向けて準備を進めているところです。

さて、昨年の十二月に「学校評価アンケート」をお願いしましたところ、たくさんの貴重な評価やご意見をいただきました。

本校では、学校重点目標に①「確かな学力の育成と保障」②「人権尊重の精神の育成」③「ふるさとの魅力発見」④「協働する教職員組織（チーム葛沢）」の四点を掲げて日々の教育活動に取り組んでおります。

アンケートは、この重点目標に沿って、保護者・児童・教職員に、同じ設問で行いました。なお、評価欄は、「ア」そのとおりで、「イ」「ウ」「エ」「オ」の順に、「ア」から「オ」まで、それぞれ「1」から「5」までの評価を付けていただきます。

■確かな学力の育成と保障

設問	児童	保護者	教師
1 家庭学習をきちんとしている	3.43	3.20	3.27
2 学習内容を理解している	3.34	3.16	3.00
3 生き生きと授業に参加している	2.96	3.34	3.24
4 学校は授業の工夫をしている	3.70	3.41	3.11
5 積極的に読書活動をしている	3.57	3.29	3.00

葛沢小学校とってはじめての調査となりましたが、比較的高い評価結果が出ております。「学習内容を理解している」の項目については、教師からの評価が比較的低下しておりますが、基礎学力の定着や「わかる授業」の実践に努めたいと考えております。

また、「児童は生き生きと授業に参加している」の項目については、児童の評価がやや低かったですが、授業中の発表をはじめ、授業への積極的な参加をもっと頑張りたいという意識が感じられます。「学校は、授業の工夫をしている」の項目が高いことは、教師一人一人が授業力の向上を意識するとともに教育用タブレットの活用や授業改善に努めている成果ではないかと考えます。今後もすべての児童が、確かな学力を身につけることを見据えて粘り強く取り組んで参ります。

■人権尊重の精神の育成

設問	児童	保護者	教師
6 あいさつがしっかりできる	3.53	3.26	2.94
7 困っている人に声をかけることができる	3.36	3.23	3.11
8 自分の良さに気づいていると思う	3.34	2.93	3.06
9 学級で楽しく過ごしている	3.82	3.49	3.44
10 学校で周囲から大切にされている	3.49	3.48	3.44

「あいさつがしっかりできる」の項目は、児童の評価が高く、教師の評価がやや低くなっております。日常のコミュニケーションの中で、あいさつは、重要です。よりよい人間関係を築くためにも、葛沢小学校では、あいさつを大切にしています。「学級で楽しく過ごしている」と「学校で周囲から大切にされている」の項目は、児童、保護者、教師すべての評価が高い結果となりました。旧伊水小と旧都多小が統合し、葛沢小となった今年、一番気になっていた項目の一つでしたが、子どもたちがお互いを認め合い仲良く学校生活を送れているように思います。また、高学年が中心となって、縦割り班で学校行事等に取り組む中で、兄弟姉妹のような関係が築かれているのではないかと考えます。新型コロナウイルス感染症の影響で活動の制限もありますが、本校のよき伝統になってほしいと願っております。

■健康で安全な学校生活づくり

設問	児童	保護者	教師
11 基本的な生活習慣を身につけている	3.36	3.27	3.22
12 学校は、施設・設備を安全に管理している	3.50	3.54	3.44
13 テレビやゲームの約束を守っている	3.41	2.65	3.11
14 体力向上に取り組んでいる	3.46	3.28	3.17
15 新型コロナ対策・熱中症予防などに力を入れている	3.72	3.55	3.50

「テレビやゲームの約束を守っている」の項目で、児童と保護者・教師で大きく評価が違っています。前述のとおり、教育用タブレットの活用が本格的になってきたこともあり、インターネットやSNSにひそむ危険性については、各学級で指導を行っておりますが、やはり時間の約束などのルールをつくり、守っていくことが重要です。

「新型コロナウイルス感染症対策・熱中症予防などに力を入れている」では、評価が示すとおり、マスクの着用、うがい・手洗い、手指の消毒、換気に加え、日々学校施設の消毒作業に取り組んでいます。これからも引き続きこれらの取組を続けていきますので、ご家庭のご協力をよろしくお願い致します。

■ふるさとの魅力発見

設問	児童	保護者	教師
16 体験をとおした「ふるさと学習」ができています	3.28	3.73	3.67
17 学校の様子が家庭に伝えられている	3.96	3.48	3.67

「体験をとおしたふるさと学習ができています」の項目では、学校農園での稲作等、地域の皆様の支援により、充実した教育活動となっておりますこと、改めて感謝申し上げます。

また、「学校の様子が家庭に伝えられている」の項目では、予想以上に高い評価となりました。ホームページや学年通信が一定の評価を得たものと考えております。本年度も新型コロナウイルス感染症の影響から、地域の方々とのふれあいの機会が減少しております。しかし、少しでもあります学校にお越しいただく機会

や学校外で行う学習の機会もふえてきております。今後も地域に根ざした学校をめざして、着実に取り組んで参ります。

今回の学校評価アンケートを参考に、職員全員が力を合わせ、「チーム葛沢」となり、さらに良い学校づくりに努める所存です。保護者の皆様、アンケートへのご協力、並びに貴重なご意見を賜りましたこと、本当にありがとうございました。



雪遊びの様子

2月の行事予定

- 17日(金) 山崎東中入学説明会・体験入学 英語指導員来校
- 21日(火) ささゆり号来校
- 23日(木) 天皇誕生日
- 24日(金) ALT 来校 PTA 新旧理事会



3月の行事予定

- 10日(金) 3.11を忘れない集会
- 14日(火) ささゆり号来校 SC 来校
- 20日(月) 卒業式予行 給食最終日
- 21日(火) 春分の日
- 23日(木) 卒業証書授与式
- 24日(金) 修了式



児童の日記、作文より

ひなんくんれん

きょうはひなんくんれんをしました。一年せいから六年せいぜんいんでしました。二じかん目のとちゅうで、大きな音がしたのでびっくりしました。つくえの下にかくれて、せんせい、

ひなんくんれん



わたしは、じしんがいつおこるかわかりませんでした。2じかん目のとちゅうで起こりました。

はんしんあわじ大しんさいのことも、本とうに、とてもたいへんだったとおもいます。わたしは、「おはしも」をぜったいにわすれないようにしたいです。いえには、たなにとでもたくさんのものがあるの、ちがうところにおいたほうがいいとおもうのでやってみようとおもいます。

みんな雪がっせんをしたよ



この前、いとことおばあちゃんの家で雪がっせんをしました。いとことさいしよにそりであそびました。いとこがさいしよにすべりました。いとこは、「わあーめっちゃ楽しい。」と言っていたのでわたしもすべってみると、すごく楽しかったです。まだすべっていない四人も、「うわあー楽しそう。早くすべらしてよ。」と言っていたので、そりをわたすと、「すごく楽しい。」と言っていました。

つぎに、さか道がすべて雪でうまっていたので、すべり台にしてあそびました。妹がさがきゆうすぎてこわがっていたので、手をつないですべりました。すると、さいしよはすごく体がガタガタしていたのが、こわくなくなつたのか、楽しいと言っていました。そして、雪だるまを作りました。顔がここにこな雪だるまや、ふあんな顔の雪だるま、みんなかわいい雪だるまを作りました。

「スウーザザザ」雪あそび



スウーザザザ、土曜日にあんじゅでいとことさいしよにそりですべりました。坂はみじかかったです。そのあとにきょうりよくしてかまくらをつくりました。いっぱい遊んで暑かったです。さいきん、雪が多くふってうれしかったです。

「ギューギュー」雪がっせん

ギューギュー、かたく丸めた雪でみんな雪がっせんをしました。みんなは、大きな玉を作っていました。でも、ぼくは、小さくてかたい玉を作りました。ぼくは、投げられた雪をよけまくりました。ぼくには当たりませんでした。雪がっせんは楽しいです。



ひなん訓練

ひなん訓練をしました。訓練でも「ガタガタ」という地しんの音がこわかったです。地しんはいつ来るかが分からないから、訓練中に来たらどうしようと思つてしまつて、とてもこわかったです。

つくえの下にかくれている時間が長かったです。いつ、ゆれがおさまるか分からなくて不安でした。だから、ゆれがおさまつたという放送が流れた時は安心しました。地しんが来るのが分かっていてもどきどきしました。どきどきしていても、落ち着いて行動ができたのでよかったです。ろう下を歩いてる時と階段をおりてる時に少ししゃべつてしまつたから、本当の地しんの時にはしゃべらずに、まわりに注意しながらひなんしたいです。本当に地しんが起きた時に「おは・しも」を守つてひなんできるように訓練できたのでよかったです。

ひなん訓練



総合的な学習の中で、地しんによるさい害のことについてみんなで考えました。阪神・淡路大しんさいや東日本大しんさいのような大きな地しんが起きた時、自分の命を自分で守ることは、とても大切なことだと分かりました。地しんが起きたら、大きな建物からはなれなければいけません。そして、頭をかくして、しせいを低くします。ひなんする時には、「おは・しも」が大切です。もつとすみやかにひなんできるようにしたいです。そして、いつでもひなんできるように、ぼうさいバックの中身をかくにんしておきたいです。今できることをして、自分で自分の命を守れるように、自分で行動できるように準備しておきたいです。



二人の鬼

ぼくの中には二人の鬼がいます。一人目は、ゲームあとちよつと鬼です。時間を決めてもあと少しゲームをやりたいって鬼です。ゲームが楽しすぎてやめられなくなるから、ゲームあとちよつと鬼はともやっかいで大嫌いです。

もう一人、ぼくの中にはいかり鬼がいます。弟とケンカする時に出できます。腹が立った時や、いらつとした時に、すぐ出てきてしまいます。そこから、ケンカが始まつてしまいます。

あとゲームで負けた時にも、いかり鬼が出てきていかりがばくはつします。だからぼくはその鬼を退治したいです。

大人になったら



十年に一度の大寒波が宍粟市にやってきました。そのせいで、雪もずんずんふつてすぐにつもりました。雪がふると、雪かきが大変だし、道が通れなくなるかもしれない。しかも、雪がたくさんふると学校が休みになってしまいます。しかし、雪がたくさんふるといいこともあります。それは、雪合戦やスキー、かまくらなどができることです。雪で遊ぶだけでなく、雪がきらきらかがやく雪景色も、雪がふらなければ見ることができません。私は雪がたくさんふる地域の方がいいです。なぜかという、私は雪がふつた時の景色が大好きだし、雪がたくさんふると特別感があるからです。そして、毎回冬が楽しみになるからです。でも、雪がなかなかふらない地域にも、行ったことがないので、行ってみたい。大人になったらわかるかも。

